

22168 学校栄養指導論Ⅱ Nutritional Education in SchoolⅡ		3 年次～ 後期 2 単位	
担当者	大和田 浩子／井川 聡子／高橋 幸子	履修可能学科	F
		関 連 資 格	教職必(F)
サブタイトル	食に関する実際の指導の方法を理解する		
授業内容 ・ ねらい	学校生活の中のさまざまな場面で、食の指導が総合的に行われるよう、コーディネートの仕方、連携のとり方、調整の仕方などを実践的に学びます。 具体的には子どもの発達状況、健康状態の把握、それぞれの年代に応じた正しい食の指導方法、個別的な健康栄養相談やカウンセリングの方法、生活習慣病等の予防教育のあり方、家庭や地域との連携のとり方など食に関する指導方法に対する理解を深めます。		
授業計画	栄養教諭の職務内容に沿って、役割がスムーズに遂行できるよう、知識と技術の習得を目指します。 1. 食に関する指導に係る全体的な計画の作成 2. 給食の時間における食の指導（含む地場産品の活用） 3. 家庭科、技術家庭科における食の指導 4. 体育科、保健体育等における食の指導 5. 道徳・特別活動における食の指導 6. 生活科、総合的な学習の時間の活用方法 7. 学校、家庭・地域が連携した食の指導 8. 食物アレルギー等、食に関する特別な指導等を要する児童及び生徒並びに他の児童及び生徒への指導上の配慮 9. 実践演習①食に関する指導案づくり 10. 実践演習②指導案の発表・相互評価 11. 実践演習③模擬授業1 12. 実践演習④模擬授業2 13. 実践演習⑤個別指導の実際 14. 実践演習⑥栄養カウンセリングの実際 15. 各授業科目のポイントと総まとめ		
教科書 参考書	教）笠原 賀子 編著『栄養教諭のための学校栄養教育論』（医歯薬出版）。別に文部科学省の学習指導要領を使用します。プリント配布。必要に応じ参考文献を提示します。		
評価方法	模擬授業、レポート、授業態度等で評価します。		
事前準備学習 履修条件等	事前に学校栄養指導論Ⅰの内容を復習しておくこと。プリント配布。必要に応じ参考文献を提示します。		